

---

# 絵本選書における大学図書館の課題

## 保育者を志す学生の絵本選書傾向からの一考察

齋藤 めぐみ・吉村 真理子

Task of University library for Picture-book selection  
A Consideration from analysis of trends on Picture-book selection by the students

Megumi SAITO / Mariko YOSHIMURA

キーワード：保育者養成、絵本、選書、大学図書館

---

### 序論

#### 1. はじめに

絵本は子どもの心の成長やことばの豊かさにとって計り知れぬ意味をもつ（松居，2008）。絵本の読み語り子どもに果たす役割について松居（2018）は、子どもが物語を耳で聞き、絵を手がかりに見える世界に置き換えることにより想像力を育てる、と述べている。また、松岡（2017）は、以下の3点から絵本の絵の役割を説いている。第一に、幼児の時代は絵でものを考える時代であり、絵によって実生活での経験を確かめ、整理し、それを頭の中で再現する。絵本の読み語りにより、それを繰り返して体験し、子どもたちは徐々に「ものごとを抽象的にとらえるやり方や能力を身に付けていく」。第二に絵本の絵は、子どもたちの知識や経験の乏しさを補い、想像力に確かな後ろだてを与える。それにより子どもたちは実際の経験に代わる経験を絵本の中で行い、「ものごとを絵にする力」を養う。また、ただ、ものごとを絵にして示すだけでなく、それらを美しい、楽しい、しっかりした絵にして示すことによって子どもたちの目を美しいものが見えるしっかりしたものが見方のできる目に訓練していき、「物を見る目を養う」役割を果たす。従って子どもに読み語りを行う大人は、子どもにこれらの役割が果たせる絵本を選書する必要がある。そのひとつの方法として、松居（2018）は出版されて20年以上、松岡（2017）は、25年以上の絵本を選ぶことを薦めている。

保育者を志す学生において、子どもたちの育ちを考慮した絵本の選書は必須である。八木（2018）は、保育者を志す学生の絵本選書の理由として絵本の絵や文章を基に選書している学生が多いが、絵について、絵の形や色彩という分析的な見方ではなく、「かわいい」「かわいらしい」等直感的・情緒的に選択している学生が多いことを示している。また、橋村（2018）は学生の絵本関与は自分の好きな絵本や過去に読んでもらったという経験知、さらには過去の経験をもとに、それを他者にも読み与えたいとする、極めて表面的な選書であると述べている。

本学では、平成30年度入学生より「認定絵本土」資格取得が可能となった。また、かねてより学生に「絵本ノートの作成」という課題を与え、1年間で70冊ほどの絵本リストを作成するという絵本の教育に力を注いでいる。このような教育的背景に加え、平成30年3月にはメディアセンターに「えほんのもり」と名づけられた絵本のコーナーが新設され、絵本に関する学習環境が整えられつつある。

しかしながら、絵本の選書サポートというソフト面について大学図書館として今まであまり検討されておらず、ソフト面の方法や内容について検討する必要がある。そこで本研究は、本学学生の絵本選書の傾向を明らかにし、それに基づいて絵本の選書に関するメディアセンターとしての今後の取り組みについて課題と展望から検討することを目的とする。

## 2. 本学の絵本に関する取り組み

### 1) 「認定絵本土」資格取得

本学において平成30(2018)年度入学生から保育コースの学生は、通常の講義中に組み込まれた認定絵本土カリキュラムに沿って学ぶことにより、2年間で「認定絵本土」の資格を取得できることになった。全国に先がけて、今回スタートするのは、西日本では大阪樟蔭女子大学、東日本では本学のみである。

「認定絵本土」は、平成26年度から絵本専門士委員会(事務局は、国立青少年教育振興機構教育事業部企画課)が既に養成している「絵本専門士」に準ずる資格である。「絵本専門士」は、子どもたちの健やかな成長を促す絵本の可能性やその活用法を、学校や家庭のみならず地域社会に普及させるとともに、絵本の読み聞かせやワークショップなど、読書活動の推進に携わる専門家である。「認定絵本土」資格取得後、幼稚園教諭や保育士など3年以上の絵本に関わる実務経験を積むことで「絵本専門士」の資格取得申請を行うことができる(絵本専門士としての資質・能力を判定するための課題を課される場合がある)。

学生は、基本的には既存の講義に組み込まれたカリキュラムと専門的に学ぶ「読書と豊かな心」の講義を受講することで資格取得ができる。「読書と豊かな心」は、公立の図書館司書、絵本編集者、出版社社員等様々な分野の専門家による絵本についての講義である。

### 2) 絵本ノートの作成

保育コースを希望し、AO入試、自己推薦入試の合格者に対して入学前に絵本ノートの作成を課している。絵本ノートの対象となる絵本は、松居直「絵本の与えかた」(福音館書店リーフレット)に掲載されている絵本の中から入学前に15冊を選書して作成する。入学後には、保育内容の研究「言葉」の課題として、規定の冊数を完成させ提出する。

#### (1) 絵本の種類:

- ①赤ちゃんの本 19冊(5冊)
- ②2歳、3歳児の絵本 17冊(5冊)
- ③4歳児の絵本 11冊(3冊)
- ④5歳、6歳児の絵本 10冊(2冊)

#### (2) 記入する内容

- ①題名(表紙の絵を描く or カラーコピー)
- ②(文、訳、絵)
- ③出版社
- ④初版年
- ⑤あらすじ
- ⑥感想

### 3) オープンキャンパスにおける取り組み

本年度のオープンキャンパスにおいて「認定絵本土」の説明をする際、学生が絵本の紹介や絵本の読み語りを行った。学生が紹介した絵本を以下に記す。

「からすのパンやさん」作:かこさとし 福音館書店

「うさこちゃん」シリーズ 作:ディック・ブルーナ 福音館書店

「ぜったい ぜったい ひみつだよ」著：アナ・カン 絵：クリストファー・ウェイアント  
「ボタンちゃん」著：小川洋子 絵：岡田千晶  
「かみなりどんがやってきた」著：中川ひろたか 絵：あおきひろえ  
「パパ、おつきさまとって」作：エリック・カール  
「みんなでつくっちゃった」著／編：長 新太  
「あめがふってよかったね」著：よしいたかこ 絵：石倉ヒロユキ  
「こんとあき」林明子  
「めっきらもっきらどおんどん」著：長谷川摂子 絵：ふりやなな  
「にじをつくったのだあれ？」著：ベティ・アン・シュワルツ 絵：ドナ・ターナー 文：鈴木ユリイカ  
「おこだてませんように」著：くすのきしげのり 絵：石井 聖岳  
「へんしんトンネル」著／絵：あきやまただし  
「ちょっとだけ」著：瀧村有子 絵：鈴木永子  
「にいちゃんのなみだスイッチ」著：いとうみく 絵：青山友美

#### 4) イベント時の絵本の読み語り

5月に行われた「さつき祭り」と10月開催の「敬愛フェスタ」において、メディアセンター来場の子どもたちを対象にした学生部図書系の企画進行による絵本の読み語りが行われた。図書系のメンバーは1年生のみであることから、5月の「さつき祭り」では読み語りは2年生に依頼した。10月のフェスタ時には図書系の読み語り班の代表者が読み語りをを行った。読み語りをを行った絵本を以下に記す。

##### ① さつき祭り

「くれよんのくろくん」絵：なかやみわさく  
「ちいさなクレヨン」作：篠塚かをり、絵：安井 淡  
「どろんこおそうじ」作・絵：さとうわきこ  
「まゆとおに」作：富安陽子、絵：降矢なな  
「三びきのやぎのがらがらどん」絵：マーシャ・ブラウン 瀬田貞二訳  
「おおきなかぶ」A・トルストイ再話 内田莉莎子訳 佐藤忠良画  
「おばけのてんぷら」せなけいこ  
「私のワンピース」にしまきかやこ 絵と文

##### ② 敬愛フェスタ

「パパ、おつきさまとって」作：エリック・カール  
「わにわにくんのおふろ」作：山口マオ  
「おまえ うまそうだな」作：宮西達也

#### 5) 総合子ども学研究所主催による絵本についての公開講座

今年度は、第19回現代子ども学公開講座として生田美秋先生（絵本学会理事・絵本専門士養成講座講師）から「保育と絵本を学ぶ人のために」と題して絵本についてお話を伺う機会があった。子どもと絵本、読み合い・読み語り、絵本の選び方、絵本の絵を読む方法などを中心に、学生は保育と絵本の基本について学んだ。講座の中で「はじめてのおつかい」をスクリーンで映しながら挿絵の細かな配慮を特に強調して教えていただいた。

## 方 法

メディアセンターのデータベースと質問紙による調査により学生の選書実態を分析した。

## 1. メディアセンターにおける絵本の貸出状況調査

### 1) 調査対象

千葉県の保育者を養成する短期大学2年次の学生149名を対象とした。

### 2) 調査期間

2018年4月1日～12月17日

### 3) 調査方法

メディアセンター保有の貸し出し状況データから必要データを使用した。

### 4) 分析方法

「貸出絵本」について、松岡享子著「えほんのせかい こどものせかい」(2017)、松居直「松居直のすすめる50の絵本」(2008)、および全国学校図書館協議会選定の「第28回選定よい絵本」(2016)との比較により質的に分析を行った。

## 2. 好きな絵本、絵本の選出基準、絵本の調達方法

### 1) 調査対象

千葉県の保育者を養成する短期大学2年次の学生133名を対象とした。

### 2) 調査期間

2018年12月22日～12月25日

### 3) 調査方法

質問紙を用いて行った。質問内容は、以下の通りであった。

- ①絵本の選出基準（自分が好き〔絵・ストーリー・作者〕・授業で薦められた・メディアセンターで薦められた・その他から選出、複数回答可）
- ②絵本の調達方法（メディアセンターで借りる・近くの図書館で借りる・家にある・購入するから選出、複数回答可）
- ③好きな絵本5冊の自由記述

### 4) 倫理的配慮

調査にあたり、調査項目、実施の有無は成績と一切関係しないことを説明した。また研究目的以外には使用しないことを質問紙配布時に説明を行い、同意の得られた者を対象とした。

### 5) 分析方法

1.の「貸出絵本」と合わせ、「好きな絵本」について、松岡享子著「えほんのせかい こどものせかい」(2017)、松居直「松居直のすすめる50の絵本」(2008)、および全国学校図書館協議会選定の「第28回選定よい絵本」(2016)との比較により質的に分析を行った。

## 結 果

### 1. 絵本貸出状況

#### 1) 絵本貸出数

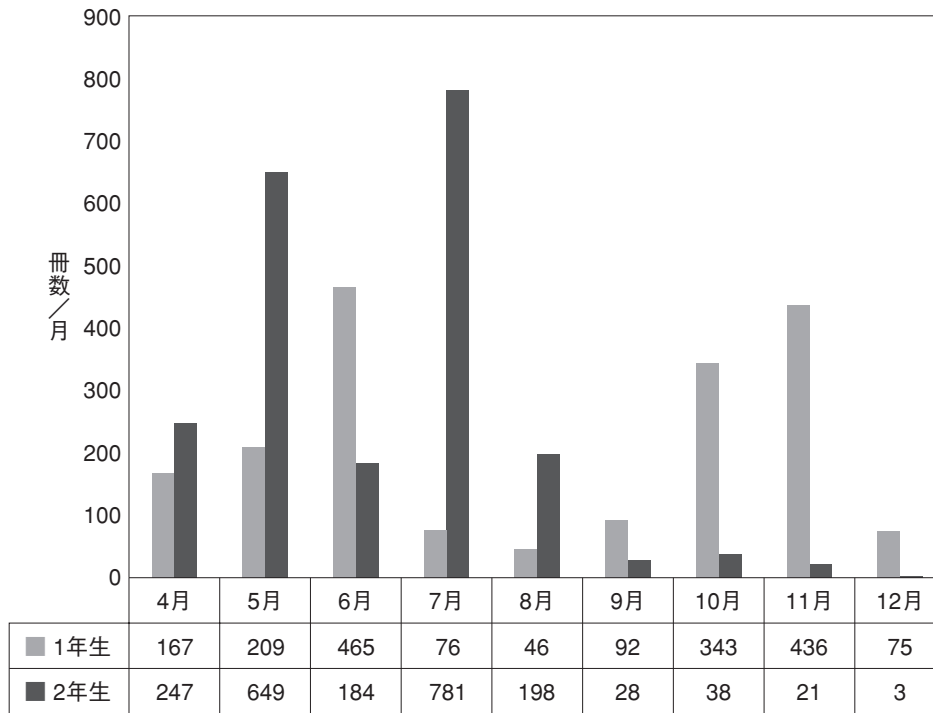
9か月分の絵本の貸し出し数を1年生との比較を含めて図1に示した。5月7月は2年生の貸出数が多く、特に7月は781冊と年間を通して最大数の貸し出しがあった。一方、9月28冊、10月38冊、11月21冊、そして12月は3冊と後期に貸出数が激減した。

#### 2) 貸出の多かった絵本

貸出数の多かった上位50（55種類）の絵本を表1に示した。

1位から5位までに選出された絵本は、くれよんのくろくん、しろくまちゃんのほっとけーき、どうぞのいす、わたしのワンピース、そらまめくんのベッドの順であった。

図1 2018年4月～12月 学年別絵本貸出数



## 2. 好きな絵本、絵本の選出基準、絵本の調達方法

### 1) 学生が「好き」な上位50の絵本

学生が「好き」な上位50の絵本を表2に示した。上位5位は、ぐりとぐら、はじめてのおつかい、はらぺこあおむし、だるまさんシリーズ、くれよんのくろくんであった。貸出された絵本と同じ絵本は25種類あり、グレーで示した。上位20まではほとんど重複していた。学生は、好きな絵本をメディアセンターで借りる傾向があるということがわかった。

### 2) 絵本選出の基準

絵本を選書する基準についてたずねた結果を表3に示した。自分が好きだからという回答が圧倒的に多かった。また、好きな内容は、絵が好き、ストーリーが好き、がほぼ同じ割合で多かった。その他の理由については、子どもの頃から読んでいたから、実習では対象となる子どもの状態を考慮して選ぶとの回答がみられた。作者が好き、と回答した中で、なかやみわ (1名)、ヨシタケシンスケ (2名) と特記していた者があった。

表1 2018年4月～12月 貸出絵本(上位50)

絵本	出版年	作家	出版者	貸出数
くれよんのくろくん	2001	なかやみわさく・絵	童心社	43回
しろくまちゃんのほっとけーき	1972	わかやまけん著	こぐま社	42回
どうぞのいす	1981	香山美子作 柿本幸造絵	ひさかたチャイルド	35回
わたしのワンピース	1969	にしまさかやこ(西巻芽子)絵と文	こぐま社	30回
そらまめくんのベッド	1999	なかやみわさく・絵	福音館書店	27回
はらぺこあおむし	1969	エリック=カールさく もりひさし訳	偕成社	24回
ぞうくんのさんぽ	1977	なかのひろたかさく・絵 なかのまさたかレタリング	福音館書店	24回
どろんこハリー	1964	ジーン・ジオン文 マーガレット・プロイ・グレアム絵 わたなべしげお訳	福音館書店	23回
おおきなかぶ	1966	A.トルストイ再話 内田莉莎子訳 佐藤忠良画	福音館書店	22回
からすのパンやさん	1973	加古里子絵と文	偕成社	20回
三びきのやぎのがらがらどん	1965	マーシャ・ブラウン絵 瀬田貞二訳	福音館書店	20回
どうすればいいのかな?	1980	わたなべしげお文 おおともやすお絵	福音館書店	19回
がたんごとんがたんごとん	1987	安西水丸さく	福音館書店	18回
キャベツくん	1980	長新太文・絵	文研出版	17回
おでかけのまえに	1981	筒井頼子さく 林明子絵	福音館書店	17回
ぐりとぐら	1967	なかがわり絵こ作 おおむらゆりこ絵	福音館書店	17回
11びきのねこふくろのなか	1967	馬場のぼる著	こぐま社	17回
てぶくろ ウクライナ民話	1965	エウゲーニー・M・ラチョフ絵 うちだりさこ訳	福音館書店	17回
ちいさなうさこちゃん	1964	ディック・ブルーナ文・絵 いしいももこ訳	福音館書店	16回
ぼくのくれよん	1993	長新太おはなし・絵	講談社	16回
せんたくかあちゃん	1982	さとうわきこさく・絵	福音館書店	16回
だるまさんが	2008	かがくいひろしさく	ブロンズ新社	16回
でこちゃん	2000	つちだのぶこさく・絵	PHP研究所	15回
ぐるんぱのようちえん	1966	西内ミナミさく 堀内誠一絵	福音館書店	15回
いただきまます	1980	わたなべしげお文 おおともやすお絵	福音館書店	15回
めっきらもっきらどおんどん	1990	長谷川稔子作 ふりやなな画	福音館書店	14回
ティッチ	1975	バット・ハッチンスさく・絵 いしいももこ訳	福音館書店	14回
かばくん	1966	岸田衿子さく 中谷千代子絵	福音館書店	14回
はじめてのおつかい	1977	筒井頼子さく 林明子絵	福音館書店	13回
11びきのねこ	1967	馬場のぼる著	こぐま社	13回
すてきな三にんぐみ	1969	トミー=アンゲラーさく いま絵よしとも(今江祥智)訳	偕成社	13回
おふるだいき	1982	松岡享子作 林明子絵	福音館書店	13回
そらいろのたね	1967	中川李枝子さく 大村百合子絵	福音館書店	13回
じゃあじゃあびりびり	2001	まついのりこ作・絵	偕成社	13回
ぞうくんのあめふりさんぽ	2006	なかのひろたかさく・絵	福音館書店	11回
かみなりどんがやってきた	2014	中川ひろたか文 鈴木翼 熊木たかひと原案 あおきひろ絵	世界文化社	11回
だるまさんと	2009	かがくいひろしさく	ブロンズ新社	11回
だるまさんの	2008	かがくいひろしさく	ブロンズ新社	10回
もうぬげない	2015	ヨシタケシンスケ作	ブロンズ新社	10回
おひさまあはは	1989	前川かずお作・絵	こぐま社	10回
はけたよはけたよ	1970	かんざわとしこ(神沢利子)文 にしまきかやこ(西巻芽子)絵	偕成社	10回
くろくとなぞのおばけ	2009	なかやみわさく・絵	童心社	9回
バムとケロのにちようび	2008	島田ゆか作・絵	文溪堂	9回
にじいろのさかな	1997	マーカス・フィスター作 谷川俊太郎訳	講談社	9回
しゅくだい	2003	宗正美子原案 いもとようこ文・絵	岩崎書店	9回
ラチとらいおん	1965	マレーク・ペロニカ文・絵 とくながやすもと訳	福音館書店	9回
あんなになかよしだったのに…	2009	かさいまり作・絵	ひさかたチャイルド	8回
おまえうまそうだな	2003	宮西達也作絵	ポプラ社	8回
おばけのてんぶら	2005	せなけいこ作・絵	ポプラ社	8回
くもくん	1998	いとうひろし作	ポプラ社	8回
ねずみくんのチョコッキ	1974	なか絵よし作 上野紀子絵	ポプラ社	8回
おやつなんだろう?	2017	山本和子 1949- 国松エリカ 1962-	ひさかたチャイルド	8回
おさるのおいかげっこ	2007	いとうひろし作・絵	講談社	8回
おべんとうはママのおてがみ	2015	田島かおり作	教育画劇	8回

表2 学生の好きな絵本(上位50)

絵本	出版年	作家	出版者	選出者数
ぐりとぐら	1967	なかがわり絵こ作 おおむらゆりこ絵	福音館書店	49
はじめてのおつかい	1977	筒井頼子さく 林明子絵	福音館書店	41
はらぺこあおむし	1969	エリック=カールさく もりひさし訳	偕成社	31
だるまさんシリーズ	2008	かがくいひろしさく	ブロンズ新社	25
くれよんのくろくん	2001	なかやみわさく・絵	童心社	24
そらまめくんのベッド	1999	なかやみわさく・絵	福音館書店	23
もうぬげない	2015	ヨシタケシンスケ作	ブロンズ新社	20
三びきのやぎのらがらどん	1965	マーシャ・ブラウン絵 瀬田貞二訳	福音館書店	13
わたしのワンピース	1969	にしまさきかやこ(西巻芽子)絵と文	こぐま社	13
バムとケロのシリーズ	2010	島田ゆか作・絵	文溪堂	12
からすのパン屋さん	1973	加古里子絵と文	偕成社	11
しろくまちゃんのホットケーキ	1972	わかやまけん著	こぐま社	10
どうぞのいす	1981	香山美子作 柿本幸造絵	ひさかたチャイルド	10
でこちゃん	2000	つちだのぶこさく・絵	PHP研究所	9
おまえうまそうだな	2003	宮西達也作絵	ポプラ社	8
めっきらもつきらどんどん	1990	長谷川摂子作 ふりやなな画	福音館書店	8
ぐるんぱのようちえん	1966	西内ミナミさく 堀内誠一絵	福音館書店	7
こんとあき	1989	林明子作	福音館書店	7
てぶくろ	1965	エウゲーニー・M・ラチョフ絵 うちだりさこ訳	福音館書店	7
おふるだいすき	1982	松岡享子作 林明子絵	福音館書店	6
かいじゅうたちのいるところ	1975	モーリス・センダック著・画	富山房	6
きんぎょがにげた	1982	五味太郎作	福音館書店	6
ともだちや	1998	内田麟太郎作、降矢なな絵	偕成社	6
ねずみくんのチョコッキ	1974	なか絵よしを作 上野紀子絵	ポプラ社	6
ブタのたね	1989	佐々木マキ作・絵	絵本館	6
100かいの家シリーズ	2008	いわいとしお作	偕成社	5
どろんこハリー	1964	ジーン・ジオン文 マーガレット・プロイ・グレアム絵 わたなべしげお訳	福音館書店	5
11びきのねこシリーズ	1967	馬場のぼる著	こぐま社	4
三びきのこぶた	1967	瀬田貞二訳 山田三郎絵	福音館書店	4
おしっこちょっぴりもれたろう	2018	ヨシタケシンスケ	PHP研究所	4
かさをさしてあげるね	1998	はせがわせつこ、にしまさきかやこ	福音館書店	4
すてきな三にんぐみ	1969	トミー=アングラーさく いま絵よしとも(今江祥智)訳	偕成社	4
ねないこだれだ	1969	せなけいこ	福音館書店	4
へんしんとんねる	2002	あきやただし	あきやただし	4
りんごかもしれない	2013	ヨシタケシンスケ	ブロンズ新社	4
14ひきシリーズ	1983	いわむらかずお作	童心社	3
かばんりのガラゴ	1997	島田ゆか作・絵	文溪堂	3
キャベツくん	1980	長新太文・絵	文研出版	3
きょうはなんのひ?	1979	瀬田貞二作 林明子絵	福音館書店	3
きよだいなきよだいな	1994	長谷川摂子作、降矢奈々絵	福音館書店	3
くまのこうちょうせんせい	2004	こんのひとみ作	金の星社	3
スイミー	1969	レオ=レオ二作 谷川俊太郎訳	好学社	3
スーホーの白い馬	1967	大塚勇三再話	福音館書店	3
たまごにいちゃん	2001	あきやただし作・絵	鈴木出版	3
にじいろのさかな	1997	マーカス・フィスター作 谷川俊太郎訳	講談社	3
ばけけけけけけたくん	2009	岩田明子作	大日本図書	3
はみがきれっしゃ	2015	くぼまちこ	アリス館	3
まあちゃんのながいかみ	1995	高樓方子	福音館書店	3
ミッフィー	1998	村田さち子、ディックブルーナ	講談社	3
ももたろう	1965	まついただし作、あかばすえきち絵	福音館書店	3

表3 絵本の選書基準

選書基準①	%
自分が好き	89
授業で推薦された	21
メディアセンターで推薦された	6
選書基準②	%
絵が好き	58
ストーリーが好き	55
作者が好き	9
その他	15

### 3) 絵本の調達方法

絵本を読む場合、また実習等で使用する場合に調達するところについてたずねた。その結果、家の近くの図書館で借りる、メディアセンターで借りる、の順に多かった。学校のメディアセンターより、家の近くの図書館で借りる割合がわずかではあるが多いことがわかった。

表4 絵本の調達方法

絵本の調達方法	%
家の近くの図書館で借りる	66
メディアセンターで借りる	64
家にある	38
買う	20

### 4) 松居、松岡、全国学校図書館協議会の推薦する絵本との比較

#### ①発行年からの経年比較

松居、松岡、全国学校図書館協議会の推薦する絵本と学生が貸出（学生1）、好き（学生2）な絵本の発行年からの期間（年数）を表5に示した。学生が選出した絵本は、他の選者の選出した絵本の発行年からの年数と比較して短かった。新しい絵本を選書する傾向があることがわかった。

表5 学生の選書した絵本と有識者の選書絵本の発行年からの経年比較

選者	年数(年)	SD
松居	39	15.9
松岡	50	10.1
協議会	33	16.2
学生1	32	17.8
学生2	32	16.9

#### ②選書の比較

学生が選出した絵本の中でいずれかの選者の推薦する絵本と同じ絵本は26種類（32.5%）であった（表7）。一方、3者とも選出した絵本の中で学生が選出していなかった絵本は30種類あり、表8に示した。5回貸出のあった「おおかみと7ひきのこやぎ」について、選者はグリム著 フェリクス・ホフマン画を選出、学生は那須田淳 文 柿本幸造 絵を選出していた。



表 6 松居、松岡、全国学校図書館協議会のいずれかの推薦する絵本と学生の選書

松居	松岡	協議会	絵本	出版年	作家	出版社
○	○	○	おおきなかぶ	1966	A.トルストイ再話 内田莉莎子訳 佐藤忠良画	福音館書店
○	○		かいじゅうたちのいるところ	1975	モーリス・センダック著・画	富山房
○	○		ちいさなうさこちゃん	1964	ディック・ブルーナ文・絵 いしいももこ訳	福音館書店
○	○		ラチとらいおん	1965	マレーク・ペロニカ文・絵 とくながやすもと訳	福音館書店
○		○	スイミー	1969	レオ=レオニ作 谷川俊太郎訳	好学社
○		○	はけたよはけたよ	1970	かんざわとしこ(神沢利子)文 にしまきかやこ(西巻芽子)絵	偕成社
○		○	はらべこあおむし	1969	エリック=カールさく もりひさし訳	偕成社
○		○	わたしのワンピース	1969	にしまきかやこ(西巻芽子)絵と文	こぐま社
○			はじめてのおつかい	1977	筒井頼子さく 林明子絵	福音館書店
○			ももたろう	1965	まついただし作、あかばすえきち絵	福音館書店
	○	○	ぐりとぐら	1967	なかがわり絵こ作 おおむらゆりこ絵	福音館書店
	○	○	スーホーの白い馬	1967	大塚勇三再話	福音館書店
	○	○	ティッチ	1975	パット・ハッチンスさく・絵 いしいももこ訳	福音館書店
	○	○	てぶくろ	1965	エウゲーニー・M・ラチョフ絵 うちだりさこ訳	福音館書店
	○	○	どろんこハリー	1964	ジーン・ジョン文 マーガレット・プロイ・グレアム絵 わたなべしげお訳	福音館書店
	○	○	三びきのやぎのがらがらどん	1965	マーシャ・ブラウン絵 瀬田貞二訳	福音館書店
	○		おふろだいすき	1982	松岡享子作 林明子絵	福音館書店
	○		ぐるんぱのようちえん	1966	西内ミナミさく 堀内誠一絵	福音館書店
		○	11びきのねこ	1967	馬場のぼる著	こぐま社
		○	キャベツくん	1980	長新太文・絵	文研出版
		○	きょうはなんのひ?	1979	瀬田貞二作 林明子絵	福音館書店
		○	しゅくだい	2003	宗正美子原案 いもとようこ文・絵	岩崎書店
		○	でこちゃん	2000	つちだのぶこさく・絵	PHP研究所
		○	ねずみくんのチョッキ	1974	なか絵よしを作 上野紀子絵	ポプラ社
		○	ぼくのくれよん	1993	長新太おはなし・絵	講談社
		○	三びきのこぶた	1967	瀬田貞二訳 山田三郎絵	福音館書店

表7 松居、松岡、全国学校図書館協議会の3者が推薦する絵本で学生が選出しなかった絵本

絵本	出版年	作家	出版社
はなをくんくん	1967	ルース・クラウス著、マーク・シーモント画	福音館書店
ちいさいおうち	1954	バージニア・リー・バートン著・画	岩波書店
ピーターラビットのおはなし	1971	ビアトリクス・ポター著・画	福音館書店
かにむかし	1959	木下順二著、清水崑画	岩波書店
まりーちゃんとおひつじ	1956	フランソワーズ著・画	岩波書店
きかんしゃやえもん	1959	阿川弘之著、岡部冬彦画	岩波書店
よあけ	1977	ユリー・シュルヴィッツ著・画	福音館書店
あおい目のこねこ	1965	エゴン・マチーセン著・画	福音館書店
フレデリック-ちょっとかわったのねずみのはなし	1969	レオ・レオニ著・画	好学社
おいしいのぼうけん	1974	古田足日著、田畑精一画	童心社
きかんしゃやえもん	1959	阿川弘之文 岡部冬彦絵	岩波書店
だるまちゃんとおてんぐちゃん	1967	加古里子さく/絵	福音館書店
おいしいのぼうけん	1974	ふるたたるひ たばたせいいちさく	童心社
かにむかし	1959	木下順二文 清水崑絵	岩波書店
だいくとおにろく	1967	松居直再話 赤羽末吉画	福音館書店
はなをくんくん	1967	ルース・クラウス文 マーク・シーモント絵 きじまはじめ訳	福音館書店
ひとまねこざる	1998	H. A. レイ文、絵 光吉夏弥訳	岩波書店
ちいさいおうち	1965	ばーじにあ・リー・ばーとん文と絵 いしいももこ訳	岩波書店
ベレのあたらしいふく	1976	エルサ・ベスコフさく・絵 おのでらゆりこ訳	福音館書店
だいくとおにろく	1967	松居直再話	福音館書店
あおいめ目のこねこ	1965	エゴン・マチーセン著・画	福音館書店
きかんしゃやえもん	1959	阿川弘之文	岩波書店
ちいさいおうち	1965	バージニア・リー・バートンおはなしとえ	岩波書店
ベレのあたらしいふく	1976	エルサ・ベスコフさく・絵 おのでらゆりこ訳	福音館書店
よあけ	1977	ユリー・シュルヴィッツ著・画	福音館書店
だるまちゃんとおてんぐちゃん	1967	加古里子作・絵	福音館書店
ピーターラビットのえほん	1971	ビアトリクス・ポター著・画	福音館書店
ひとまねこざる	1998	H. A. レイ文、絵 光吉夏弥訳	岩波書店
フレデリック	1969	レオ=レオニ	日本パブリッシング
まりーちゃんとおひつじ	1956	フランソワーズ著・画	岩波書店

## 考 察

本研究は、本学学生の絵本選書の傾向を明らかにし、それに基づいて絵本の選書に関するメディアセンターとしての今後の取り組みについて課題と展望から検討することが目的であった。

まず、本学学生の絵本選書の傾向について考察する。

貸出数の動向からみると、学生は課題や実習時には絵本を読むが、2年生の12月の貸出数が3冊であったことからわかるように必要性がないと絵本をほとんど読まない傾向にあると考えられる。これは課題のひとつである。保育者を志す学生が常に自ら絵本を読む機会を創出するための支援をメディアセンターで行う必要がある。

絵本選書の理由は、自分が好きだからであった。授業で推薦された、メディアセンターで推薦された、を選書理由とする学生は非常に少ない。メディアセンターで今後支援する余地があり、それにより学生の絵本選書に力を貸せる可能性が大きいということでもある。

選書の対象となる絵本については、絵本の経年平均が比較的短期であることから、貸出、好きな絵本を含めて古典と称されるベストセラー絵本と近年話題となっている新作が混在していることがわかる。好きな絵本については、初版から50年愛され続けている「ぐりとぐら」が一番、「はじめてのおつかい」、「はらぺこあおむし」と続いた。学生たちはベストセラーといわれる良質な絵本を好んでいる傾向があることが示唆された。これは授業や絵本ノート作成において良質な絵本を知る機会があることの影響が大

きい。また、「はじめてのおつかい」については、11月の生田美秋先生が講座の中で丁寧に絵について説明してくださり、学生もその絵の魅力に魅かれた可能性がある。良質の絵本を丁寧に教授することで学生の絵本に対する見方が変わる可能性が示唆された。一方で貸出数が一番多かった絵本は、2001年に出版された「くれよんのくろくん」であった。作者の丸みをおびたやわらかいイラストが好き、という学生が多く、同じ作者の「そらまめくんのベッド」も貸出の上位となっている。また、近年話題となっているヨシタケシンスケの絵本も好きな絵本として挙げられている。ヨシタケシンスケの絵本については、近年の発刊ということもあり、本研究において分析の参考として用いた絵本のリストには掲載されていない。子どもの目線で書かれているため子どもが楽しめるという評価もあるが、幼児向けの読み語りに適しているかどうか研究する必要がある。

絵本選書の内容について考察する。考察に当たり、松井直氏と松岡享子氏、および全国学校図書館協議会の推薦する絵本と比較した。その結果、一致率は30%程度であった。また、3者ともに推薦している絵本は31冊であったが、そのうちの30冊は、学生が選書した好きな絵本や貸出絵本に含まれていなかった。さらに、上位の貸出数ではなかったためリストには掲載されていなかったが、「おおかみと七ひきのこやぎ」は、グリム著 フェリクス・ホフマン画ではなく、那須田淳 文 柿本幸造 絵を選出していたことがわかった。松居（2008）は、“ホフマンの挿絵には、ゆたかな余白が生かされ、それが物語をみごとに生かすとともに、絵の細部にはストーリーを生かす絶妙な工夫がされている“とその挿絵の素晴らしさを強調している。学生は、その魅力より、学生の基準で「かわいい」を基準に選書している傾向があると考えられる。八木（2018）が説明している保育者を志す学生の絵本選書の理由として絵について「かわいい」「かわいらしい」等直感的・情緒的に選択している学生が多い（八木，2018）ことと一致する。絵本の絵が大事であることは、前述したように松岡（2017）も力説している。講座の中で生田先生が「はじめてのおつかい」に隠れている挿絵の妙を教えてくださいました事で学生が理解したように、良い絵を丁寧に学生に伝える機会をもつことが今後必要ではないかと考えられる。「おおかみと七ひきのこやぎ」や「三匹のこぶた」「三匹のくま」など、数種類の書き手がある昔話は特に、選書をする目を学生に養わせることが望まれる。

かわいく漫画的なイラストについて、中澤（2005）は実験的検証から、幼児に最も好まれた“登場人物がかわいく漫画的、色調は明るくメルヘンなイメージ”の絵は幼児の想像力（イメージ形成）の妨げとなっていたことを導き出した。そのことから幼児が好む絵本（好む絵）を与えることは必ずしも幼児の発達にとって良いわけではないということを示唆し、幼児に読み語りをを行う際、幼児の状態や何を育てたいのかを考えながら絵本の選択を行っていく必要があると説いた。

まだ絵本を見る目が完全に養われていない学生に対し、良質の絵本から選書するよう働きかけること、絵本の絵を見る目を養えるような支援方法を検討する必要がある。例えば吉田（2017）が行って効果があったと報告しているように、学生が良き絵本を選出し、POPを書き、他の人に紹介するなど教職員からの一方的な支援ではなく、自主的に取り組みつつ学べるような企画も考えられる。

さらに、伊勢ら（2018）が述べているように新任の保育者は、日々の仕事に追われ、絵本研究に時間を割くことが難しいことから、学生時から保育に生かすという観点を持ち、記録しながら絵本を読むことを早い時期から習慣づける指導を行う必要がある。絵本ノートの作成時のみならず学生が自主的に記録をしていくような教材も同時に考え、学生が絵本を見る目を養えるように考えること、それにより実習や課題以外でも絵本を読む学生が増えるようメディアセンターでの支援を検討し展開することが望まれる。

## まとめ

1. 本学の学生は、課題や実習時に多くの絵本を読むが、それ以外では自主的にあまり絵本を読まない傾向がある。
2. 「好きな絵本」を主な理由に選書している者が多い。
3. 学生が絵本の絵を見る目を養うための支援方法を検討し、メディアセンターで実施することが望まれる。

[謝辞] 本研究は、2018年度千葉敬愛短期大学 学長裁量プロジェクト研究の一環として行いました。プロジェクトの採用にあたりご尽力くださいました教職員の皆様、メディアセンター運営委員会の教職の皆様、プロジェクトを採択してくださいました千葉敬愛短期大学 学長 明石要一先生に心よりお礼申し上げます。

質問紙調査に協力くださった本学2年次の学生の皆様、メディアセンターの貸出データを作成してくださった本学メディアセンター司書の矢野香織様、「えほんのもり」に関して尽力してくださっているメディアセンター司書の古賀一美様、重ねて矢野香織様に記してお礼申し上げます。

### ■引用文献

- 橋村晴美 (2018) 「領域「言葉」における言葉の感覚が養われる教育方法についての一考察  
—学生の絵本の選書から見えてきたもの—」中部学院大学・中部学院大学短期大学部教育実践研究第 (3) 19-28
- 伊勢明子・吉村真理子 (2017) 「保育者にとっての絵本体験の重要性?保育者の資質を高める絵本ノートの活用について?」  
千葉敬愛短期大学紀要 (39) 449-455
- 松居直 (2008) 「松居直のすすめる50の絵本」教文館
- 松居直 (2018) 「絵本の与え方」福音館書店
- 松岡享子 (2017) 「えほんのせかいこどものせかい」文春文庫
- 八木義仁 (2018) 「保育内容の研究 (言葉)」における読み聞かせの選書理由の傾向」畿央大学紀要 (15) 5-10
- 吉田昭子 (2017) 大学生の選んだ「こどもたちに読ませたい本」の展示 文化学園大学・文化学園大学短期大学部紀要 (48) 123-131
- 工藤真由美 保育者にとっての絵本に関する一考察 四條畷学園短期大学紀要49 2016 40-46
- 「全国学校図書館協議会選定 第28回選定よい絵本」(2016) <http://www.j-sla.or.jp/recommend/yoiehon-top.html>
- 中澤潤、中道圭人、大澤紀代子、針谷洋美 (2005) 「絵本の絵が幼児の物語理解・想像力に及ぼす影響」千葉大学教育学部研究紀要 (53) 193-202

### ■参考文献

- 絵本ナビ <https://www.ehonnaivi.net/ehon/106343/>